

「分子病態セミナー」を開催

2015年1月30日

1月30日（金）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、東京大学医科学研究所 分子療法分野 教授 東條有伸先生を迎え、「腫瘍溶解性組換えワクシニアウイルス療法の開発」と題して、がん進展制御研究所分子病態セミナーを開催しました。

セミナーでは、癌特異的に感染するウイルスベクターを用いた、がん細胞を標的とする治療法について、国外ではベンチャーによって活発に臨床試験が行われているなか、国内では遅れがちなベクター開発を東條教授が先導して行っているなどのお話がありました。本分野の現状と問題点を共有することができ、大変、有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら二十数名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



分子病態セミナー

**演題名：腫瘍溶解性組換え
ワクシニアウイルス療法の開発**

講演者：東京大学医科学研究所 分子療法分野

東條 有伸 教授

日時：平成27年1月30日 (金) 17:00～18:00

**場所：がん進展制御研究所 4階 会議室
(角間キャンパス)**

再発・治療抵抗性の多発性骨髄腫を対象とする新たなコンセプトの治療法として、ワクシニアウイルス・ワクチン株を腫瘍細胞選択的に増殖伝播するように遺伝子改変した腫瘍溶解ウイルスの安全性と有効性を検証した。

東京大学医科学研究所附属病院ではトランスレーショナルリサーチを強く推進しており、東條教授の臨床応用を目指した興味深い研究成果をご紹介いただけると期待しています。

連絡先：後藤 (がん進展制御研究所・分子病態研究分野 内線6730)